

長久手の街路樹について考えよう

☎みどりの推進課 ☎56-0552

本市では、「緑あふれる潤いのあるまちづくり」のため、道路に緑を増やし、木陰等で休憩しながら楽しく歩ける環境づくりに取り組むことで、良好な住環境の形成を目指しています。

長久手市の景観を形作る大切な街路樹について考えてみませんか？

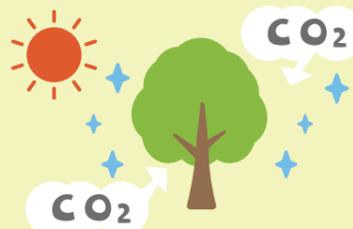


街路樹の役割って何？

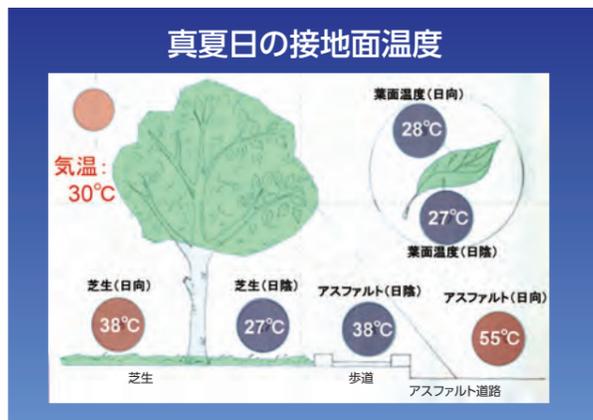
市内の街路樹は、夏は強い日差しを遮り、歩行者の涼しく快適な移動空間を創出し、春や秋は花や紅葉によって沿道のうらおいと季節感のある景観を形成しています。また景観だけでなく車道と歩道を街路樹で分離することで歩行者の安全も守っています。



他にも、街路樹は二酸化炭素(CO₂)の削減という役割を担っています。人が1年間で排出するCO₂は320kg/年とされています。街路樹に多く使われるケヤキは年間で67kgのCO₂を吸収します。CO₂の削減を全て樹木で賅う訳ではありませんが、樹木の大切さが分かります。



豆知識



— 緑陰効果で涼しく快適な空間も —

緑陰効果とは、街路樹や公園樹などの緑陰が強い日差しを遮ることで、地表面の温度を低く抑える効果のことです。

気温が30°Cの場合、日なたのアスファルトが55°Cとなっているのに比べて、日陰のアスファルトは38°Cと17°Cも差があり、街路樹の役割を改めて実感します。

引用：大和田道雄著・NHK 暮らしの気候学・日本放送出版協会



市が街路樹のためにしていること

維持管理

剪定だけでなく、清掃・除草、病害虫防除、水やりなどを行っており、年間約1億円かかっています。街路樹と聞くと高木を想像しますが、高木の足下に植栽されている低木も街路樹です。低木は高木よりも維持管理に手がかり、枝が伸びて見通しが悪くならないよう定期的な管理が必要です。



街路樹もみなさんの力で！

市だけではきれいな街路樹の維持に限界が来ています。そこで、市民と一緒に街路樹の維持管理を行いたいと考え、**街路樹アダプト制度**を制定しました。



街路樹アダプト制度ってなに？

街路樹を養子(アダプト)のように愛着を持って市民にお世話してもらう制度です。

活動内容 除草や落ち葉、ゴミ拾い等。可能であれば散水。

活動場所 街路樹のある市道または県道

市補助 ゴミ袋等の支給が可能です。

また、一部の市道では植栽帯の空きスペースに、ご自身で用意されたお好きな花を植栽することも可能です。



街路樹アダプト制度に参加して

一緒に街路樹もお世話しませんか？

11月にはジブリパークもオープンし、市外からたくさんの方が長久手を訪れます。そんな長久手市の「顔」ともなる**グリーンロードや図書館通り等の街路樹と一緒に世話してくれる人を募集しています！**

長久手市に在住・在勤・在学している人であればどなたでも参加できます。

スマイルポイントも付与される**「がっつり参加」**と、好きなときに好きなだけできる**「のんびり参加」**の2種類のスタイルがあるので、好きなスタイルで参加できます。

制度の詳細は市HPをご覧ください、ぜひ、みどりの推進課までお問い合わせ下さい！

